

# 生成系 AI（ChatGPT など）を業務に活かすコツと、初めての Python プログラミング

講師：倉地 育夫氏

株式会社 ケンシュー 代表取締役 工学博士

ChatGPT の登場で生成系 AI に注目が集まっている。知識労働者の実務が AI に奪われそうな勢いを伝えるニュースの中で、事務文書だけでなく結婚披露宴の祝辞まで AI に作らせた話題を語られても、何故か笑えない若いサラリーマンは多いのではないかと。

イノベーションのスピードが加速している。100年後は不明だが、AI が人間の作製したデータとアルゴリズムで動作している限り、現在の AI に難しい業務が存在する。それは、「何も課題の設定されていない状態で始めるデータの処理」である。この意味の詳細はセミナーで説明するが、日々の実務では、そこで見出された問題から課題を設定して仕事を始めていることに着目していただきたい。「正しい問題を見出す作業」と「課題設定作業」は、現在の AI では難しい。ドロッカーでさえ、「正しい問題を見出す作業は難しく、それができれば、問題解決の80%はできたことになる。」と述べている。

すなわち、「課題設定作業」や、科学で求められる「仮説設定作業」は、人間がしなければいけない仕事として残り、仕事の成果は、AI 登場以前同様これらの作業の品質に左右される。

本セミナーでは、社会基盤に AI の実装が始まった実務のあり方を想像し、問題を解決するためにデータ処理で常識となりつつある Python プログラミングを事例に、AI 活用方法を解説するとともに、課題設定の方法やその基になるアイデア創出法を講義する。

情報が溢れるインターネットの時代に、ビッグデータを処理するデータサイエンスも身近になっただけでなく、自由自在にデータ処理を可能とする無料の Python プログラミング環境も充実してきた。そこに生成系 AI が登場し、これら新技術により知の獲得について変革が起き始めた。先端の IT スキルを身につけることで実務経験の浅い若い人が活躍できる社会になった、と前向きにとらえ、入社3年目レベルまでの若い社会人を対象に内容を構成している。実務経験が豊富な人が受講できれば、今後の実務のイノベーションの方向を知るセミナーとなる。

**【講師経歴】** 1977年3月名古屋大学工学部合成化学科卒業、1979年3月同大学院工学研究科応用化学専攻博士課程前期修了、1983年4月科学技術庁無機材質研究所留学（1984年10月まで）、1992年9月学位取得（工学博士；私立中部大学）、1979年4月ブリヂストン入社（現；ブリヂストン）、1984年11月ブリヂストン研究開発本部復職、1991年9月ブリヂストン退社、1991年10月コニカ第四開発センター入社（主任研究員）、1993年4月福井大学工学部客員教授、1993年11月コニカ感材技術研究所主幹研究員、1998年6月同社 MG 開発センター主幹研究員、2001年8月同社中央研究所所長付主幹研究員、2005年8月コニカミノルタビジネステクノロジーズ生産本部生産技術センターデバイス技術部第3デバイスグループリーダー、2008年10月同社生産技術センターデバイス技術部担当部長、2009年4月同社開発本部製品開発センター機能部材開発部担当部長、2011年3月コニカミノルタビジネステクノロジーズ定年退社（57歳）、2011年3月ケンシュー設立 代表取締役社長就任（現在に至る）**【受賞歴】** 2000年5月第32回日本化学工業協会技術特別賞受賞、2004年5月写真学会ゼラチン賞受賞（その他ブリヂストンの超高純度βSiC半導体技術が日本化学会化学技術賞受賞**【活動】** 高分子学会代議員、高分子同友会開発部会世話人、日本化学会代議員、日本化学会産学交流委員会シンポジウム分科会主査、同委員長、日本化学会春季年会講演賞審査委員長など、共著多数

開催日時	2024年7月31日（水）10:30~16:30	※本セミナーは、当日ビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。推奨環境は当該ツールをご参照ください。後日、視聴用の URL を別途メールにてご連絡いたします。 詳細は裏面をご覧ください。
受講料	55,000円（税込） ※資料、プログラムコード付 * メルマガ登録者 49,500円（税込） * アカデミック価格 26,400円（税込）	

\*アカデミック価格：学校教育法にて規定された国、地方公共団体、および学校法人格を有する大学、大学院の教員、学生に限ります。

★【メルマガ会員特典】2名以上同時申込かつ申込者全員がメルマガ会員登録していただいた場合、1名あたりの参加費がメルマガ会員価格の半額となります

★【対象者】入社3年目までの若手技術者、生成系 AI の実務導入を検討されている管理職

【習得できる知識】生成系 AI の活用の仕方、新時代の問題解決法、新時代の企画立案方法

## 【本セミナーのプログラム】

※適宜休憩が入ります。

### 1. 緒言

- 1.1. AI ブームの歴史
- 1.2. 生成系 AI の歴史
- 1.3. 生成系 AI の動作
- 1.4. データサイエンス経験

### 2. AI ブームと社会の変化

- 2.1. コンピューターの登場と知識労働者
- 2.2. 科学と非科学の歴史
- 2.3. 科学と技術

### 2.4. データサイエンスと科学

- 2.5. コンピューターによる問題解決とは
- 2.6. 第三次 AI ブームから社会実装へ

### 3. オブジェクト指向と問題解決法

- 3.1. 日々の業務は問題解決である
- 3.2. コンピューター言語とオブジェクト指向
- 3.3. オブジェクト指向と Python
- 3.4. オブジェクト指向とアイデア創出

### 3.5. アイデア創出法とデータ収集

- 3.6. データと数理モデル、グラフ
- 3.7. データとヒューリスティック

### 4. Python 入門

- 4.1. Python の概略と AI 活用の仕方
- 4.2. Python の文法
- 4.3. 簡単なプログラム事例
- 4.4. Python プログラミングのヒント

### 5. まとめ：情報の時代

弊社記入欄

## ウェビナー申込書

セミナー名

生成系 AI（ChatGPT など）を業務に活かすコツと、初めての Python プログラミング

所定の事項にご記入下さい  
メルマガ会員、  
登録希望の場合は○↓

会社名（団体名）

TEL :

住所 〒

FAX :

E-mail :

会員登録済み

新規登録希望

部署

役職

氏名

お支払方法

銀行振込 ・ その他

お支払予定

2024年 月 日頃

■申込方法：セミナー申込書にご記入の上 FAX または E-mail (order\_7053@cmcre.com) でお申し込みください。

■セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしていません、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

■申込先：(株)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町2-7 TEL 03-3293-7053

■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧になれます。⇒ <https://cmcre.com>

参加申込 FAX 番号

03-3291-5789

2024年7月31日（水）開催

# 生成系AI（ChatGPTなど）を業務に活かすコツ と、初めてのPythonプログラミング

**講師：倉地 育夫氏**

**株式会社 ケンシュー 代表取締役 工学博士**

当該セミナーは、**ライブ配信のウェビナー（オンラインセミナー）**です！

## 【ライブ配信対応セミナー】

- 本セミナーはビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。お申し込み前に、下記URLより視聴環境をご確認ください。  
→ <https://zoom.us/test>
- 当日はリアルタイムで講師へのご質問も可能です。
- タブレットやスマートフォンでも視聴できます。
- お手元のPC等にカメラ、マイク等がなくてもご視聴いただけます。この場合、音声での質問はできませんが、チャット機能、Q&A機能はご利用いただけます。
- ただし、セミナー中の質問形式や講師との個別のやり取りは講師の判断によります。ご了承ください。
- 「Zoom」についてはこちら↓をご参照ください。  
<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

## 【お申込み後の流れ】

- 開催前日までに、ウェビナー事前登録用のメールをお送りいたします。お手数ですがお名前とメールアドレスのご登録をお願いいたします。
- 事前登録完了後、ウェビナー参加用URLをお送りいたします。
- セミナー開催日時に、参加用URLよりログインいただき、ご視聴ください。
- 講師に了解を得た場合には資料をPDFで配布いたしますが、参加者のみのご利用に限定いたします。他の方への転送、WEBへの掲載などは固く禁じます。
- 資料を冊子で配布する場合は、事前にご登録のご住所に発送いたします。開催日時に間に合わない場合には、後日お送りするなどの方法で対応いたします。

## 【注意事項】

- 本セミナーの受講にあたっての推奨環境は「Zoom」に依存します。受講者の方のお手元のPCなどの設定や通信環境が受信の状況に大きく影響いたしますので、ご自分の環境が対応しているか、お申し込み前の確認をお勧めいたします。

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC->

[MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6](https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC-MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6)

- Zoomクライアントは最新版にアップデートして使用してください。
- インターネット経由でのライブ中継ですので、回線状態などにより、画像や音声がかかる場合があります。また、状況によっては、講義を中断し、再接続して再開する場合がありますが、予めご了承ください。
- 万が一、当社や講師側（開催側）のインターネット回線状況や設備機材の不具合により、開催を中止した場合には、受講料の返金や、状況により後日録画を提供すること等で対応させていただきます。
- 本セミナーはお申し込みいただいた方のみ受講いただけます。  
複数端末から同時に視聴することや複数人での視聴は禁止いたします。
- 受講中の録音・撮影等は固く禁じます。
- Zoomのグループにパスワードを設定しています。お申込者以外の参加を防ぐため、パスワードを外部に漏洩しないでください。  
万が一外部者が侵入した場合は管理者側で部外者の退出あるいはセミナーを終了いたします。